



最優秀賞



「最良のパートナー」の妻・明美さん(右)と、辰寛ちゃんを抱いて笑顔の吉良さん

両併地区では、青年団員の激減とともに、青年団主催の盆踊り大会が十数年途絶えていました。農業の停滞が深刻になるにつれ、村には何となく暗いムードが漂うものです。「どんなに苦しい時でも村人が一堂に会し、地域に住む誇りと、自信を確かめ合う場所が必要ではないか」と、九一年から毎年八月十四日に「両併おあしす祭り」として復活させました。祭りは地区住民の寄付金だけで運営されます。手作りの露店やゲーム、婦人による盆踊りや各種屋台、それに太鼓やバンド演奏、とりわけ我々が指導する「子供にわか」(小学生が方言で演じるお笑い劇)は、たいへんな喝采を受けています。お盆の帰省客も郷愁にかられ、久しぶりに会う友人と話がはずみ、近年は両併地区の夏の風物詩としてすっかり定着しています。

両併地区での夏祭り成功をステップに、村に働きかけましたところ、毎年十一月には「おあしすフェスタ」(頭文字で、おらがむら、あその、しぜんと、すんだみず)と銘打った村祭りにまで進展させることができました。近年は婦人のグループ参加も多く、村をあげた祭りとして盛り上がっています。「村祭り」を通して、地域に住む人々に活気が生まれ、楽しみや喜び、また村人たる自覚の場ができたことは、我々にとっても意義あることなのです。

人材育成にも力を入れています。そのひとつの活動として、「ふるさと創生金」を活用し